

学報

2016. October

vol. 58

特集

Special Feature

理事長・学長からの
メッセージ vol.1

E病棟竣工式典と
内覧会を行いました

看護学科オープンキャンパス
2016を開催しました



Contents

| | | |
|---------------|--|----|
| 特集 | 理事長・学長からのメッセージ vol.1 | 3 |
| | E病棟竣工式典と内覧会を行いました | 4 |
| | 看護学科オープンキャンパス2016を開催しました | 5 |
| | 西日本医科学生総合体育大会が開催されました | 6 |
| | 事務部門紹介（研究推進課／医療サービス課） | 7 |
| | 図書館だより | 8 |
| | MBT研究所だより | 9 |
| | 産学官連携だより | 10 |
| | 「奈良医大キャンパスだより」第4号を発行しました | 10 |
| | 活躍する認定看護師4人 | 11 |
| | 学報編集委員会からのお知らせ | 11 |
| Campus News | 平成29年度科学研究費助成事業に係る講演会 及び応募申請説明会を開催しました | 12 |
| | 解剖慰霊祭を執り行いました | 12 |
| | 実験動物慰霊祭を挙行了しました | 12 |
| | 東日本大震災被災地の福島県内で学生がボランティア活動を行いました | 13 |
| | 平成27年度計画の業務実績に対する評価について | 13 |
| | 附属病院内でアート展を開催しました | 14 |
| | コンソーシアム実習(早大・奈良医大連携講座)が開催されました | 14 |
| | 第6回大和漢方医学薬学セミナーを開催しました | 14 |
| Winner Report | 救急功労者総務大臣表彰をいただきました | 15 |
| | 日本消化器内視鏡技師試験に合格しました | 15 |
| | 第112回日本精神神経学会精神医学奨励賞を受賞しました | 15 |
| | 第112回日本精神神経学会学術総会で優秀発表賞を受賞しました | 16 |
| | シムリンピック2016 部門別(呼吸器診療)で1位の表彰を受けました | 16 |
| | 第212回日本内科学会近畿地方会で若手奨励賞(優秀演題賞)を受賞しました | 16 |
| | 2016年度日本臨床検査医学会で検査・技術賞を受賞しました | 17 |
| | 平成27年度整形災害外科学研究助成財団から科研製薬奨励賞をいただきました | 17 |
| | 平成27年度整形災害外科学研究助成財団から財団奨励賞をいただきました | 17 |
| | その他の受賞 | 17 |
| Information | セミナー・講習会等 | 18 |
| | 平成29年度入試日程【医学部】 | 18 |
| | 2016年奈良県立医科大学大学祭 白檀生祭 奈良に恋する2日間 ～あなたと医療のキョリ、縮めます～ | 19 |
| | 「未来への飛躍基金」にご協力いただきありがとうございました | 19 |
| | メディア掲載情報／編集後記 | 20 |

理事長・学長からのメッセージ vol.1

私が奈良医大をどのような医科大学にしようとしているのかを種々な角度からお話ししていきたいと思ひます。

端的に申し上げると、関西だけでなく全国的に存在感のある大学にしたいと思っております。このことがトップ10を達成することになります。今回は2つのことをお話しします。

1. 奈良医大を取り巻く環境

大学を取り巻く環境について、私立大学では、全大学の40%以上が定員未充足に陥っているのが現状です。また、国立大学を新聞記事からみていくと、2013年6月13日「国が迫るクラス分け、国がはじめて選ぶ研究大学20校」から始まり、「選ばれた20大学と4億円～2億円の助成額」「国際化重点支援大学として37大学が選抜」「86の国立大を、世界最高水準の研究をする16大学、特定分野で世界的な15大学、地域活性化の中核になる55大学の3つのグループに分類」「新潟大、財政難で教員人事を凍結、定年退官する教授が出て、新規募集や内部昇任を控える」など急速に環境変化が起こっているのが見て取れます。このような流れの中で、大阪大学や広島大学など、国立大学が全国紙に全面広告を出して世間にアピールすることも珍しくなくなりました。

奈良医大の学報55号(2016年1月)の表紙に大学総力戦時代と書きましたが、これは上記を踏まえてのことで、全教職員、学生、卒業生が一致団結することによって最上位クラスの大学になる決意が必要な時代だと認識しています。

2. 存在感のある医科大学へ向って着実に前進

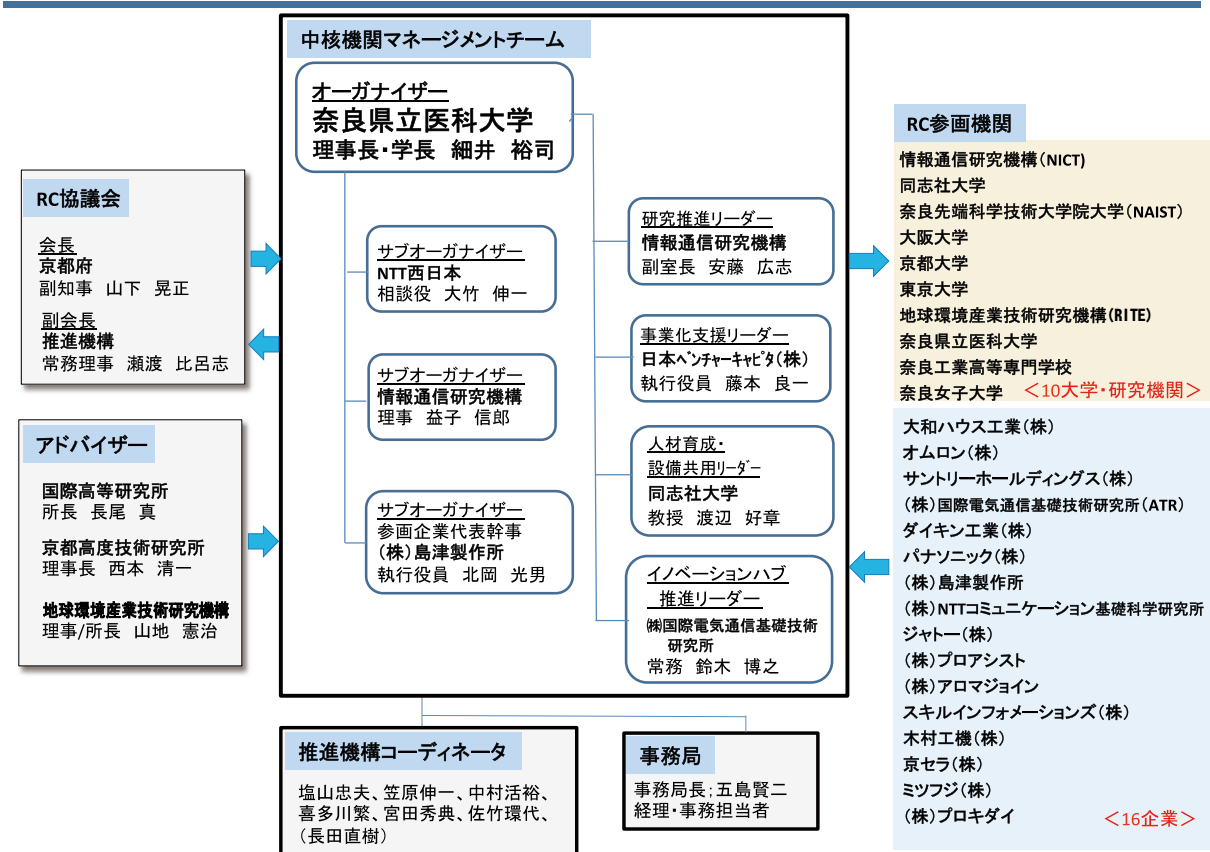
本学が参画するけいはんな地域RC(リサーチコンプレックス)が、文科省の大型支援プロジェクトに選定されたことを報告します。

昨年9月、文科省とJSTは「世界に誇るイノベーションの創出」を支援するため、1年間で5～7億円、5年間(2015～2019年度)のリサーチコンプレックス(RC)事業の公募を行いました。これに対して10地域が応募し、本採択が1地域(神戸市、中核機関は理化学研究所)、暫定採択がけいはんな地域(関西文化学術研究都市推進機構)を含む3地域となりました。本採択に向けて、けいはんな地域は新体制をとり、今年8月に私が中核機関マネジメントチームのオーガナイザーに就任いたしました。新体制には、京都大学や大阪大学を始めとする大学やNTT西日本、パナソニック(株)などの企業が参画しています(図)。

9月には東京での最終プレゼンテーションに望み、その後の審査の結果、「けいはんな」と川崎市が「本採択可」に決定しました。同時に採択された川崎市との兼ね合いから補助額の変動が予想されますが、奈良医大の実力が発揮できる場が得られたことを大変好ましく思っています。

本学は、責任ある立場でこれからの3年半でこのプロジェクトを成功させ、世の中に貢献したいと思っております。

けいはんな地域RC新推進体制 2016年8月



E病棟竣工式典と内覧会を行いました

E病棟建設工事は、老朽化した耐震性能の低いA病棟の建て替えを目的に、平成23年3月に着手、平成25年11月の一部供用開始を経て、平成28年6月に工事は竣工しました。平成28年9月3日(土)に、荒井正吾奈良県知事をはじめ約200名の来賓の方を迎え、竣工式典及び内覧会を盛大に執り行いました。

竣工式典では、まず最初に細井理事長・学長による挨拶が行われ、引き続き古家病院長による工事経過報告がなされました。続いて荒井奈良県知事、小泉奈良県議会副議長、森下檀原市長による祝辞が行われ、来賓紹介・祝電披露と続きました。

式典終了後、場所をE病棟ふれあいホールに移し、荒井奈良県知事、小泉奈良県議会副議長、森下檀原市長、田野瀬衆議院議員、佐藤参議院議員、細井理事長・学長、古家病院長によるテーブルカットが行われました。

引き続き、E病棟の内覧会が執り行われ、まず最初に屋上まで上がりオープンテラスから南は明日香・畝傍山、西は二上・葛城の山々の眺望を楽しみました。その後、真新しい建物を7階から地下1階まで順番に各階を巡りました。各階では主たる設備が職員により説明されました。

また、式典に先立ち、受付周辺では「せんとかん」や奈良医大のマスコット「しょうとくた医師くん」、そして世界初の感情認識パーソナルロボット「ベッパくん」が皆様をお出迎えしました。

新たにオープンしたE病棟各階の概要

| 階数 | 所在部署名 |
|------|---|
| 7階 | 小児センター (38床) |
| 6階 | 婦人科(39床)・メディカルバースセンター(8床) |
| 5階 | 産科(30床)・MFICU(6床) |
| 4階 | NICU(21床)・GCU(30床) |
| 3階 | 中央手術部(12室) |
| 2階 | 中央臨床検査部採血室(14ブース) リハビリテーション科 |
| 1階 | RI検査室(3室) 緩和ケア外来(3診)・がん相談支援センター |
| 地下1階 | リニアック治療室(3室)※ ラルス治療室(1室) PET-CT(1室) ※工期工事部分に所在 |



ベッパ君のお出迎え



テーブルカット



ハイブリッド手術室(内覧会)



PET-CT(内覧会)

看護学科オープンキャンパス 2016 を開催しました

8月7日(日)看護学科のオープンキャンパスを開催しました。晴天に恵まれ、400名近くの方にご参加いただき、大盛況のうちを終えることができました。

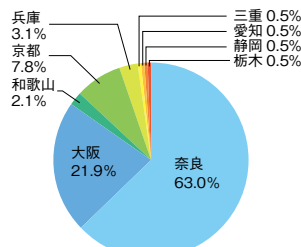
はじめに、飯田看護学科長が「看護学科を目指す人のために」というテーマで講演しました。看護学が始まった“原点”から、これからの“看護のあり方”について講演し、参加者から寄せられた感想として「看護師のあるべき姿勢などを聞いた」「看護に求められている人材が分かった」などがあり、自分が看護師になる将来をより具体的に描けたのではないかと思います。

【参加者からの意見】

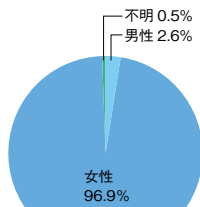
- ・どのような看護師が必要か知ることができた。
- ・看護師にあるべき姿勢などを聞いて、すごく納得できて印象に残った。



看護学科長講演



参加者の出身



参加者の性別

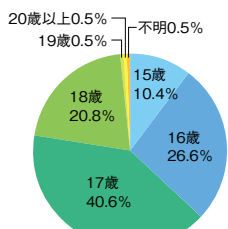
続いて、石澤看護教育部長から学科紹介及び入試概要説明として、複雑な入試の仕組みなどを参加者にわかりやすく丁寧に説明しました。

【参加者からの意見】

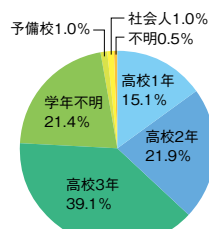
- ・たくさん学べることがあって、自分の可能性をのぼすための一歩になるかもしれないと思った。
- ・自分がいままで知らなかったことをたくさん知れた。



学科紹介及び入試概要説明会



参加者の年齢



参加者の学年

今年の『模擬ミニ講義』は、在宅看護学の小竹教授による「在宅看護ってなあに？—そのひとの人生の終わりを支えるケアを考えよう—」をテーマに講演しました。「死」という難しいテーマについて実話や動画を交えた講演に参加者からは「患者だけでなく患者の家族もケアできる看護師になりたい」「感動して泣いてしまった」などの声が聞かれ、人生の終わりに立ち会う看護師としての難しさややりがいを感じていたようです。

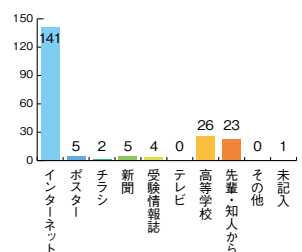
【参加者からの意見】

- ・今まで行った看護系の学校の講義の中で一番良かった。看護師になりたいと心から思った。
- ・看護師と医師の違いが分かり良かった。最後に聴いた歌が切なくて悲しくて泣いた。

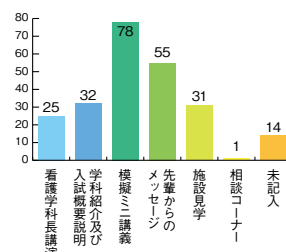


模擬ミニ講義

本学在学学生、本学の卒業生である本学附属病院の看護師も参加した『先輩からのメッセージ』は、教員や事務からは聞けないような事を聞ける絶好の機会です。参加者は受験や入学後の学生生活、そして卒業後の自分をイメージしながら、熱心に耳を傾けて、参加者のみなさんと先輩・後輩の関係になれる日を心待ちにしているようでした。



オープンキャンパスをどこで知ったか



印象に残ったプログラム

毎年盛況の『施設見学』では、学生が実習を行っている実習室、看護師として勤務することになる本学附属病院の病棟等を見学してもらいました。普段見ることのできない施設を見ることはもちろん、見学先で説明をした職員の方の丁寧な対応も好評でした。

【参加者からの意見】

- ・実際に看護師が働いているところを見て、より看護師になりたいと思った。
- ・とても細かく説明を下さって、とても良かった。

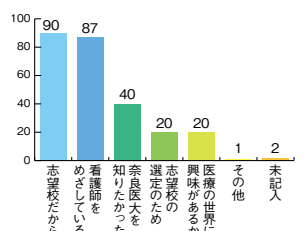


施設見学

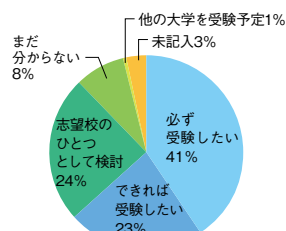
『相談コーナー』では、本学の教職員、在学生及び卒業生が、入試のことから学生生活、また卒業後の仕事の様子などについて、受験生や保護者からの様々な相談に応じました。



相談コーナー



オープンキャンパスへの参加動機



参加後の本学への受験

西日本医科学学生総合体育大会が開催されました

～第68回西医体総合12位～ 男子硬式テニス部・優勝 合気道部・優秀演武校

今年も西日本医科学学生総合体育大会が開催されました。総合成績12位と昨年23位から大きく躍進しました。競技別では、男子硬式テニス部が見事優勝を果たし、他にも合気道部、女子ソフトテニス部、女子バドミントン部、男子剣道部、ハンドボール部が上位の成績を収めました。

- ◆期 間：平成28年8月6日～8月21日
- ◆主 管：中国・四国ブロック
- ◆代表主管校：徳島大学
- ◆参加大学数：計44大学
- ◆競 技 数：21

| 団 体 | 競 技 名 | | 成 績 |
|----------|-------|---------------|-------|
| | 硬式テニス | 男 | 優勝 |
| 女 | | 2回戦敗退 | |
| ソフトテニス | 男 | 1回戦敗退 | |
| | 女 | ベスト8 | |
| サッカー | | | 2回戦敗退 |
| | | | 2回戦敗退 |
| バスケットボール | 男 | 3回戦敗退 | |
| | 女 | 2回戦敗退 | |
| バレーボール | 男 | 2回戦敗退 | |
| | 女 | 2回戦敗退 | |
| バドミントン | 男 | 2回戦敗退 | |
| | 女 | ベスト4 | |
| 弓道 | 男 | 11位 | |
| | 女 | 22位 | |
| 柔道 | 男 | 決勝トーナメント1回戦敗退 | |
| 卓球 | 男 | 3回戦敗退 | |
| | 女 | 2回戦敗退 | |
| 陸上 | 男 | 総合33位 | |
| | 女 | 総合24位 | |
| 水泳 | 男 | 20位 | |
| | 女 | 27位 | |
| 合気道 | | 優秀演武校 | |
| 空手道 | 男 | 決勝トーナメント1回戦敗退 | |
| | 女 | 予選敗退 | |
| 剣道 | 男 | ベスト8 | |
| | 女 | 決勝トーナメント1回戦敗退 | |
| ハンドボール | | 5位 | |
| ラグビー | | 2回戦敗退 | |
| ゴルフ | 男 | 25位 | |
| 総合 | | 12位 | |

| 個 人 | 競 技 名 | | 種 目 成 績 |
|--------|-------|----------|--------------|
| | 陸上 | 男 | 小林優佑 |
| 男 | | 中原啓貴 | 200mバタフライ4位 |
| 水泳 | 男 | 中島一 | 100mバタフライ10位 |
| | 女 | 松田悠里 | 50m自由形9位 |
| 弓道 | 男 | 階戸尊 | 優勝 |
| バドミントン | 男 | 美波直岐 | シングルスベスト8 |
| | | 清水翔・河本瑛仁 | ダブルスベスト8 |
| | 女 | 吉川千尋 | シングルスベスト8 |
| | | 門間祥子 | シングルスベスト16 |

男子硬式テニス部

医学科4年 久林 正斗



第68回西医体硬式テニス部門は8月6日(土)から8月13日(土)に徳島県、愛媛県にて開催されました。本大会において、男子部は創部初となる優勝、女子部はベスト16という成績を残すことが出来ました。

去年、西医体の1回戦で負けた時の悔しさを忘れることなく、この1年間、西医体で結果を残すことを常に意識して練習に取り組んできました。今大会は、試合に勝つごとにチームとしての一体感が生まれたと感じています。全部員が目の前の試合に真剣に挑み続けた結果が、優勝という形になって現れたと思っています。

最後になりますが、日頃からご支援ならびにご協力いただいたOB、OGの先生方、また遠方にもかかわらず足を運んで応援に来てくださった方々には本当に感謝しております。来年の西医体では、男子部は連覇、女子部は優勝出来るように部員一同さらに精進していく所存です。本当にありがとうございました。

合気道部

医学科4年 坂元 優太



第68回西医体合気道部門・第19回西医療体合気道部門は、8月14日(日)から15日(月)まで高知県で開催されました。本大会において合気道部は西医体の団体部において優秀賞を、西医療体の団体部において敢闘賞を、個人の部において優秀賞を頂くことが出来ました。

この一年間、合気道部にとって唯一の大会である西医体で入賞するという目標に掲げ、部員全員が一丸となって日々稽古に取り組んできました。その努力が入賞という結果として表れたことは大変嬉しく思います。これも、稽古をつけてくださった師範の先生はじめ、OB・OGの方々の支えがあってこのことだと思っています。来年はさらに上の賞である最優秀演武賞を目指して精進していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

研究推進課

研究推進課は、基礎医学棟の4階にあり、昨年度まで研究推進係と産学連携推進係の2係でしたが、研究者の支援を強化するため、今年度から研究推進係が研究企画係と研究支援係となり、3系の体制となりました。

課員は27人で、女性が大半を占める(女性22名)元気で明るい職場です。

3系の主な業務を紹介します。

研究企画係は、文科科研費や厚労科研費の申請・報告、講座・領域研究費の配分、研究推進戦略本部会議や医の倫理審査委員会の開催、国際交流センター、女性研究者支援センター、先端医学研究機構(総合研究棟)、納品検収センター、研究活動・研究費使用の不正防止に関する業務を行っています。また、平成33年度の新キャンパスへの研究分野の移転に向け、関係機関と議論を重ねています。

研究支援係は、文科科研費、厚労科研費、AMED、講座・領域研究費や寄附金等外部資金の支払事務、また、旅費の算定等に関する業務を行っています。例年7月に実施している経理事務等説明会に加え、9月に公的研究費の支払事務を担当して

いる方を対象とした説明会を新たに開催するなど、支払事務の円滑化のための取り組みを進めています。

産学連携推進係は、産学官連携推進センター、大和漢方医学薬学センターを兼務するとともに、国、公的研究機関等の研究助成・委託・共同研究等の契約、寄附講座の設置、大学間連携、競争的資金、利益相反や特許の大学承継に関する業務を行っています。また、今年6月に設置されたMBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所の事務局となっており、11月14日(月)に東京で開催するMBTコロキウムに向けて忙しい日々を送っています。

私たちの業務は、いわゆる「縁の下の力持ち」的な業務がほとんどを占めております。本学の研究をより一層推進するため、課員一丸となって日々の業務に邁進してまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



研究推進課の様子



納品検収センターの様子

医療サービス課

医療サービス課というのをしている課かと思う人がいるかもしれませんが、一般的に言えば医事課といわれている部署です。

当課は課長以下総数72名の大所帯でそのうち女性が66名となっています。職種も事務職員の他、病棟クラーク、外来ドクター秘書からなっております。

課は医事管理係・医事総務係・レセプト係の3つの係から構成されています。医事管理係は、病棟クラークを含めて29名で、医療における“診療の質”を確保するために設けられている施設基準に関する業務、外来の受付・案内・料金計算等を委託している医事委託業者の監督、先進医療・自由診療業務等を行っています。また、保険診療対策プロジェクトを担当しており、適切な保険診療の管理を実施し、病院収入の増加をはかり病院経営の安定化に努力しております。病棟クラークは、各病棟のナースステーションにて、医師や看護師などの医療従事者が患者さんのケアに専念できるようにさまざまな仕事をしています。

医事総務係は、外来ドクター秘書を含めて21名で、課内庶務の他、診療録の開示、子宮がん検診、産科医療補償制度、保険会社などからの各種照会等を担当しております。また、外来診療対策プロジェクトを担当しており、診療待ち時間の短縮、外来ブー

スの効率的運用など外来部門の機能の充実、効率化を図っております。外来ドクター秘書とは、各外来で医師が行う業務のうち、事務的な業務をサポートして、医師に診療に専念できる環境をつくっています。

レセプト係は20名で、入院のレセプト(診療報酬明細書)の作成、国民健康保険団体連合会や社会保険診療支払基金等への診療報酬の請求、患者さんの入院費の計算等を行っています。

患者さんに少しでも快適に診察を受けていただけるよう日々の業務に取り組み努力しておりますのでよろしくお願いいたします。



入院精算の様子

検索マスターへの道 (第8回) タグの使い方

ある疑問に対し、医学情報データベースでどのように検索するのかを解説するシリーズ、今回はPubMedや医中誌を検索するときを知っておくと便利なタグを紹介します。タグとは、項目名を表す記号のことです。PubMedでは検索結果をMEDLINE形式で表示するとどのような項目があるかを確認できます。

[Abstract形式]

```
Citation: 2915 Jul 7; [2015-06-05 doi: 10.1161/CIRCULATIONAHA.114.014791] Emb 2915 Mar 9
Clopidoogrel With Aspirin in Acute Minor Stroke or Transient Ischemic Attack (CHANCE) Trial: One-Year Outcomes.
WORLD, CHINA, ASIAN, MEN, WOMEN, EUROPEAN, LAL, MENA, ISRAELI, WORLD, WORLD, CHANCE
Keywords:
Author information
Abstract
BACKGROUND: The Clopidogrel in High-risk patients with Acute Non-disabling Cerebrovascular Events (CHANCE) trial showed that the combined treatment of clopidogrel and aspirin decreases the 90-day risk of stroke without increasing hemorrhage in comparison with aspirin alone, but provided insufficient data to establish whether the benefit persisted over a longer period of time beyond the trial termination. We report the 1-year follow-up outcomes of this trial.
```

(以下略)

[MEDLINE形式]

```
PMID- 25957224
OWN - NLM
STAR - MEDLINE
DA - 20150707
DCOM- 20150816
IS - 1824-4839 (Electronic)
IS - 0009-7322 (Linking)
VI - 132
IP - 1
DP - 2015 Jul 7
TI - Clopidogrel With Aspirin in Acute Minor Stroke or Transient Ischemic Attack (CHANCE) Trial: One-Year Outcomes.
PG - 40-6
LID - 10.1161/CIRCULATIONAHA.114.014791 [doi]
AB - BACKGROUND: The Clopidogrel in High-risk patients with Acute Non-disabling Cerebrovascular Events (CHANCE) trial showed that the combined treatment of clopidogrel and aspirin decreases the 90-day risk of stroke without increasing hemorrhage in comparison with aspirin alone, but provided insufficient data to establish whether the benefit persisted over a longer period of time beyond trial termination. We report the 1-year follow-up outcomes of this trial. M
```

(以下略)

「PMID」はPubMedの文献番号、「TI」はタイトル、「AB」は抄録です。このように、検索データは項目別にタグがつけられています。タグは検索にも使えます。キーワードの後ろにタグを[]で指定して、検索ボックスに入力します。例えば「Kawasaki disease」というキーワードをタイトル中に含むものに限定して検索したいときは「Kawasaki disease [TI]」と入れて検索します。[TI] タグを使うことによって、Abstractやほかの項目の中に入っている「Kawasaki」や「disease」は検索対象外となります。フレーズに[TI]をつけるとダブルクォーテーションでくくらずともフレーズ検索されますが、前方一致(*)やAND,OR,NOTなどを加えるとタグの直前のキーワードのみがタグつきで検索されます。

また、特定の先生が書かれた論文のデータを探すときにもタグは使えます。例として、奈良医大の山田太郎先生が書かれた論文を探したいときは、「yamada-t [AU] AND nara medical university [AD]」と著者名、所属機関を表すタグをキーワードの後ろにつければ検索できます。ただし、所属機関の記述は原著によるため一様ではありません。奈良医大を表すときは「nara medical university」のほか、省略形の「nara med univ.」などがあります。思いつく所属機関のキーワードに[AD]をつけORで結んで検索するか、「nara [AD]」で「nara」というキーワードが所属機関名に入っているものを検索するなど工夫すると、検索漏れが少なくなります。

ここでよく使うタグの一部を紹介します。

```
Affiliation [AD]: 著者の所属機関
Author [AU]: 著者名
Journal [TA]: 雑誌名
MeSH Terms [MH]: MeSH用語
MeSH Major Topic [MAJR]: 文献の主要トピックを表す MeSH用語
MeSH Subheadings [SH]: 副標目。MeSHの概念を限定する
PMID [PMID]: PubMedのID番号
Publication Type [PT]:
ReviewやClinical Trialなど文献の資料種類。
Title [TI]: 文献のタイトル
Title/Abstract [TIAB]: 文献のタイトルと抄録
※ [AB] 単独では使用できない
```

なお、MEDLINE形式で表示されるすべての項目が検索に使用できるタグではありませんのでご注意ください。検索タグの詳細はPubMed Help:Search Field Description and Tags (https://www.ncbi.nlm.nih.gov/books/NBK3827/#pubmedhelp.Search_Field_Descriptions_and)をご覧ください。

次は医中誌についてです。医中誌もタグつけ検索ができます。医中誌でのタグつけ検索は一次検索項目と絞り込み項目の二種類あります。一次検索項目とはタイトル、著者名など論文の構成要素となる項目のことです。検索方法は、キーワードの後ろにスラッシュとタグを入れます。「川崎病」をタイトルに含む論文を調べたい場合は「川崎病 /TI」と検索します。検索結果表示を「タグ付き形式」にすると、タグ付きで文献のデータを確認できます。一次検索項目でよく使うタグを紹介します。

```
著者名: /AU
最終著者名: /LAU
雑誌名: /JN
文献タイトル+抄録: /TA
統制語(シソーラス): /TH
メジャー統制語: /MTH ※2002年以降のデータに限定
医中誌のID番号: /UI
筆頭著者名: /FAU
著者の所属機関名: /IN
文献タイトル: /TI
抄録: /AB
```

もう一方の絞り込み項目とは、件数が多い時に絞り込む項目のことで、論文種類や発行年、分類などがあります。タグで限定するときは、DT=2012(出版年が2012年)のように絞り込みタグとキーワードをイコールで結びます。絞り込み項目でよく使うタグを紹介します。

```
論文種類: PT (例) PT=症例報告
分類: SB (例) SB=看護
発行年: DT (例) DT=2012: 2016
研究デザイン: RD (例) RD=ランダム化比較試験
チェックタグ: CK (例) CK=ヒト
副標目: SH (例) 川崎病/TH and SH=薬物療法
```

このように、タグを使えばより効率よく検索をすることができます。思いついたキーワードで検索するとき、タグをつけると項目が限定されるため目的から外れた文献が減り、自分の求めている文献を探しやすくなりますよ。今回は執筆にあたり以下の図書を参考にしました。どちらも図書館にありますのでご興味のある方はぜひご覧ください。配架場所は図書館2階閲覧室北側単行本490.7です。

【参考図書】

1. 岩下愛. 図解PubMedの使い方, 第6版, 日本医学図書館協会, 2013
2. 諏訪部直子. わかりやすい医中誌Web検索ガイド, 日本医学図書館協会, 2013

「医学を基礎とするまちづくり Medicine-Based Town (MBT) コロキウム」を開催します

理事長・学長 細井 裕司

MBT (医学を基礎とするまちづくり) 研究所長

11月14日(月)、早稲田大学大隈講堂、リーガロイヤルホテル東京において、「医学を基礎とするまちづくり Medicine-Based Town (MBT) コロキウム」を開催します。

当日は2部構成で、本学の教授陣が約70名参加します。本学と早稲田大学がそれぞれの特徴を生かし、相互補完して社会に貢献したいと思います。

MBTは、公に奈良医大が県や世間に対して示した中期計画に明記されている事業です。多くの教室が、このコロキウムに積極的に参加いただくことを心から感謝申し上げます。奈良医大の教職員が一致団結してコロキウムを成功させ、本学が全国で存在感のある医科大学になることを念じています。



MBT Planning
NARA MU & WASEDA U

医学を基礎とするまちづくり Medicine-Based Town (MBT) コロキウム

2016年11月14日(月) 開催

■ 後援

| | |
|-----------|--------------------|
| 内閣府 | 日本老年医学会 |
| 総務省 | 日本在宅医学会 |
| 文部科学省 | 日本足の外科学会 |
| 厚生労働省 | 日本整形外科学会 |
| 経済産業省 | スポーツ医学会 |
| 国土交通省 | 日本下肢救済・足病学会 |
| 奈良県 | 日本プライマリー・ケア連合学会 |
| 橿原市 | 日本都市センター |
| 新宿区 | 日本建築家協会 |
| 科学技術振興機構 | 日本建築士会連合会 |
| 産業技術総合研究所 | 都市計画協会 |
| NHK (第1部) | 東京建築士会 |
| 日本経済新聞社 | 関西健康・医療創生会議 |
| 関西経済同友会 | 関西文化学術研究都市推進機構 |
| 土木学会 | 都市づくりパブリックデザインセンター |
| 日本建築学会 | 稲門建築会 |
| 日本都市計画学会 | |
| 日本造園学会 | |
| 日本都市学会 | |
| 都市住宅学会 | (依頼含む) |

■ 問い合わせ

第1部
早稲田大学 重点領域研究機構
医学を基礎とするまちづくり研究所
Email: wasedambt@gmail.com
HP: <http://pi-mbt.wix.com/home>

第2部
奈良県立医科大学MBT研究所
電話: 0744-29-8913 (担当: 遊佐、鉄村)
Email: mbt@naramed-u.ac.jp
HP: <http://www.naramed-u.ac.jp/university/kanrenshitsesu/mbt/>
参考HP (一社) MBTコンソーシアム: <http://mbt.or.jp>

■ 両会場へのアクセス

JR山手線/西武新宿線 高田馬場駅 徒歩20分
地下鉄東西線 早稲田駅 徒歩8分
都バス(学バス) 西早稲田 徒歩1分
都電荒川線 早稲田 徒歩3分



第1部 早稲田大学大隈記念講堂
東京都新宿区戸塚町1-104

第2部 リーガロイヤルホテル東京
東京都新宿区戸塚町1-104-19

早稲田大学・奈良医大の共同研究「MBT」のさらなる推進に向けて

2012年より、奈良県立医科大学と早稲田大学は「医学を基礎とするまちづくり (MBT: Medicine-Based Town)」に関する研究を進めています。この研究は、わが国が直面する喫緊の社会的課題(少子高齢社会のまちづくり、産業創生、地方創生)に対し、両大学の協働を核に、産学官の連携による課題解決を目指すものです。2015年、早稲田大学は重点領域研究として「医学を基礎とするまちづくり研究所」(所長:後藤春彦 早稲田大学 教授)を設立し、また奈良県立医科大学では2016年4月、産業界と一体となって「一般社団法人MBTコンソーシアム」(理事長:細井裕司 奈良県立医科大学 理事長・学長)を、さらに2016年6月には「MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所」(所長:細井裕司)を設立しました。このように、研究体制が強化されたことを受けて、急がれる社会的課題の解決に対して一層の研究推進をはかるべく、この度コロキウムを開催する運びとなりました。皆様のご参加をお待ちしております。

**第1部 早稲田大学研究院フォーラム2016
「MBT(医学を基礎とするまちづくり)の最先端」**

日時: 2016年11月14日(月) 13:30-17:20 (開場13:00)
会場: 早稲田大学大隈記念講堂 ※定員: 1,100名 (無料)
主催: 早稲田大学
共催: 奈良県立医科大学、一般社団法人MBTコンソーシアム

プログラム

| | | |
|--------|-------------------|--------------------------------------|
| ・主催挨拶 | 鎌田 薫 | 早稲田大学 総長 |
| ・共催挨拶 | 細井裕司 | 奈良県立医科大学 理事長兼学長 |
| ・基調講演1 | 荒井正吾 | 奈良県知事 |
| ・基調講演2 | Patrick Seeb | 米国ミネソタ州ロチェスター市 DMC経済開発局 経済開発・地域づくり局長 |
| ・報告1 | 後藤春彦 | 早稲田大学MBT研究所 所長 |
| ・報告2 | 一般社団法人 MBTコンソーシアム | |
| ・紹介 | 奈良県立医科大学教授陣 | ほか |

**第2部 「新産業創生のための
企業と医師との交流相談会」**

日時: 2016年11月14日(月) 18:00-20:00
会場: リーガロイヤルホテル東京 ※定員: 500名 (会費: 2,000円)
MBTコンソーシアム会員は会費無料
主催: 奈良県立医科大学、一般社団法人MBTコンソーシアム
共催: 早稲田大学

プログラム

- ・MBTに関心ある企業とPatrick Seeb氏との意見交換 (定員100名)
- ・奈良医大学長および教授陣(約70名)と企業の交流相談会
- ※MBTコンソーシアム会員企業によるブース展示あり

ほか

参加申し込み

下記ホームページから、事前の参加申し込みを受け付けています
<http://pi-mbt.wix.com/home>

イノベーション・ジャパン2016～大学見本市＆ビジネスマッチング～

8月25日(木)及び26日(金)の2日間、東京ビッグサイトにおいて、大学や公的機関等から創出された研究成果の社会還元、技術移転を促進すること及び実用化に向けた産学連携を図ることを目的として「イノベーション・ジャパン2016～大学見本市＆ビジネスマッチング～」(主催:国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)、他)が開催されました。

本学は、JSTによる採択をうけ、右記シーズを大学見本市に出展しました。当日は酒井教授がブースでポスターやサンプルを用いて解説を行った他、展示ホール内において多数の聴講者に対しショートプレゼンを行い、企業等と名刺交換等、活発な産学官交流を行いました。今後、これらの企業等とマッチングが生まれることを期待しています。

「備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の開発」

化学 教授 酒井 宏水



来場者に解説する酒井教授(右)



ショートプレゼンの様子

シーズ集を発行しました

今年度は、83名の先生方のシーズ集を発行しました。

シーズ集は、本学に在職する研究者とその研究活動に関する情報を広く社会に紹介し、本学の知的財産を産学官連携活動に有効に活用してゆくことを目指し作成しています。

シーズは本学のHPに公開される他、冊子版は公的機関や企業の研究開発部門等にも配布します。

大学は自ら事業化が出来ませんので、研究成果を社会に還元するためには、企業等との連携が不可欠です。まずは、大学が何

を研究しているのかわからないことには始まりません。シーズ集は本学と企業等をつなぐ架け橋の役割を果たしてくれると期待しています。



「奈良医大キャンパスだより」第4号を発行しました

昨年度から本学の新旧キャンパスの整備に向け、地域住民とのコミュニケーションを充実させるためのツールとして、「奈良医大キャンパスだより」を発行していますが、今般、その第4号、2016年秋号を発行いたしました。

今号では、キャンパス整備の取り組み状況や今後の予定を紹介するほか、地域住民向けに開催した健康長寿のためのイベントや新キャンパス用地にあった県農業研究開発センターの移転など、様々な情報を掲載しています。

キャンパス整備の取り組み状況としては、新キャンパスに関して、完成までの工程を紹介するとともに、現キャンパスに関しては、今後の一連の整備に先行して竣工・稼働したE病棟について紹介しています。

また、本学の教育・研究部門が移転する新キャンパスは、県農業研究開発センターの跡地に整備しますが、地元で親しまれた同センターのこれまでを振り返るとともに、今後の展開を紹介しています。

「奈良医大キャンパスだより」は、近隣大学の全戸に直接投函によりお届けしていますが、その内容は、本学HP(<http://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/campusdayori/index.html>)でも紹介していますので、ぜひご覧ください。



「奈良医大キャンパスだより」第4号

- ・キャンパス整備に向けた取り組み状況・今後の予定

Topics

- ・健康長寿のためのイベントを開催しました
- ・農業研究開発センターの移転

イベントなどのお知らせ

- ・奈良県立医科大学 大学祭「白檀生祭」
- ・公開講座

第4号のコンテンツ

活躍する認定看護師 4 人

手術看護認定看護師

中央手術室 看護師 渡邊 和彦

手術看護分野は 2005 年 8 月より 認定看護分野に特定されました。

手術看護は 21 分野中 14 番目の登録者数で、手術看護認定看護師は、全国 472 名、奈良県には 5 名、各院所に在籍しています。

手術看護認定看護師の役割として

- ・手術侵襲を最小限にし、二次的合併症を予防するための安全管理（体温・体位管理、手術機材・機器の適切な管理等）

- ・周手術期（術前・中・後）における継続看護の実践があります。

当院には、周術期センターも発足しており、関係部署と連携しながら、周術期看護のより一層の質の向上に努めたいと考えています。よろしくお願いします。

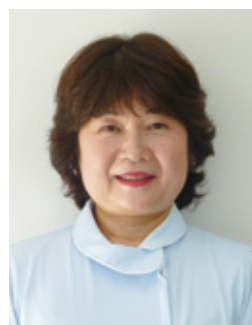


認知症認定看護師

D棟2階病棟 看護師 山本 妙子

私が、認知症認定看護師を目指したいという思いを抱いたのは、高齢化が進み認知症高齢者が増加している中で、臨床はもちろん在宅においても、認知症者の言葉を丁寧に救い上げ、少しでも安心し、心地よい環境を提供できる看護が必要であると思ったからです。

認知症看護師認定教育課程では、たくさんの学びがありました。その中で、一番印象に残り、心に刻まれたのが、「人としてのその人を尊重し、その人の個性をしっかりと見極めながら、今その人にとって何が必要なのかを見極めていくことが大切である。」これは、まさしく看護の原点ではないかと感じました。今後もこの原点を忘れずに認知症認定看護師として精進していきたいと思います。



皮膚・排泄ケア認定看護師

B棟6階病棟 看護師 崎山 恵美

2015 年、皮膚・排泄ケア認定看護師の資格を取りました。興味を持ったきっかけは、大転子部にできた褥瘡に対し、適した創傷被覆材の使用等、ケアを行ったことで褥瘡が治癒したことでした。褥瘡は治りにくいというイメージだったので、適正なアセスメント、ケアを行えば褥瘡は治癒するんだと目から鱗でした。

皮膚・排泄ケア認定看護師の役割は、W = 創傷、O = オストミー、C = 失禁ケアに関わるケア全般の、実践・指導・相談です。ケアは多岐にわたりますが、創傷管理や排泄管理を要する患者・家族へのケア、指導を行い、状態に応じた自己管理を行えるように援助していきます。また、皮膚・排泄ケアの実践を通して、看護職者への指導・相談を行い、より質の高い医療を提供できるお手伝いができればと思っています。



慢性心不全看護認定看護師

C棟7階病棟 看護師 高宮 久美子

今年度より慢性心不全看護認定看護師として、C棟7階・循環器内科外来で活動をさせて頂いております。心不全は、薬物治療やデバイス治療が行われても、その後の管理が不十分であると心不全の増悪を繰り返し、身体機能が制限されていきます。心不全の増悪を予防するためには、患者さん自身が治療計画に参加し、セルフモニタリング能力を高めることが重要です。そのため、患者さんや家族の疾患に対する思いや考えに寄り添い、在宅でも継続して実践できる生活調整をサポートしていきたいと考えています。また、今後、高齢者世帯や独居の高齢者が増加することで、在宅で十分に心不全管理が行えないことが予想されます。在宅でも、患者さんや家族の ADL、QOL を考慮した療養生活が続けられるように多職種と連携を行っていきたく思います。



学報編集委員会 からのお知らせ

寄稿記事募集案内

「学報」では、奈良県立医科大学や附属病院に関する出来事、お知らせ等を掲載していますが、これらに関連する記事を皆様からも広く募集しています。

ご興味のある方は内線2206までお問い合わせください。

なお「学報」は毎年1、4、7、10月に発行しており、本学教職員・学生のみならず本学同窓会会員や関連大学・病院等にも配布しています。



平成29年度科学研究費助成事業に係る講演会 及び応募申請説明会を開催しました

9月20日(火)及び23日(金)に基礎医学棟 第一講義室において、平成29年度科学研究費助成事業に係る講演会及び応募申請説明会を開催しました。

20日(火)は科研費の添削業務を委託しているロバスト・ジャパン株式会社 中安豪氏に、「研究計画調書の戦略と技術」と題して、科研費応募のテクニックに関してご講演いただきました。

23日(金)は本学生理学第二講座 堀江恭二教授より「科研費申請書の作成について(審査委員を経験した立場から)」という演題で、審査委員をご経験された視点からの応募書類作成時の注意点等についてご講演いただきました。

各回とも講演後には、研究費の不正使用、研究活動における不正行為の防止に関する説明と応募申請に係る事

務手続きにかかる説明を行いました。

両日合わせて132名の参加があり、質疑では応募を検討されている先生方から踏み込んだ質問がされるなど活発なやりとりがありました。

今後も科学研究費助成事業に係る研究費獲得・運用に向けて、様々な方法で更なるサポートを行っていきたく考えています。



ロバスト・ジャパン(株) 中安氏



生理学第二講座 堀江恭二 教授

解剖慰霊祭を執り行いました

9月15日(木)午後3時から大講堂において、第70回解剖慰霊祭を執り行いました。系統解剖及び病理解剖に貴重なご遺体を提供していただいた方々のご遺族や、献体登録を申し出てくださいました奈良医大白菊会会員、来賓の方々、教職員、学生等、合わせて約350名の方々が参列されました。

今年は新たに、系統解剖41柱、病理解剖47柱の計88柱の御霊を加えて、6,353柱の御霊をお祀りさせていただきました。参列者全員の黙祷の後、学長の祭文奉読、学生を代表して医学科2年生総代の小倉黎さんの感謝文奉読、参列者の献花と続き、最後に学長からのお礼の挨拶により終了しました。

医師、看護師を志す者にとって解剖実習を通じ人体の構造を知ることは避けて通れない道です。尊い意思を持ち、医学の発展と医学教育のために自らの体を捧げてくださった方々の崇高

なるご遺志に改めて深い感謝の意を表しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



御礼の言葉を述べる細井学長

実験動物慰霊祭を挙行了しました

実験動物慰霊祭を9月16日(金)に実施しました。この行事は実験動物の尊い生命に対し、哀悼の意を表すもので、毎年実施しています。

学長の祭文奉読後、多くの関係職員及び学生が献花を行いました。

私たち生命医学に携わる者は、人間はもちろん動物の生命も尊重しなければなりません。しかし、やむをえず動物実験を行うときは、動物に対して博愛的な敬愛を払い、犠牲になる動物数の削減に努めることが必要です。

そして動物の生命から得られた貴重な情報を研究成果として、広く社会に還元できるよう努めることが私たちの責務です。



祭文を奉読する細井学長

東日本大震災被災地の福島県内で学生がボランティア活動を行いました

本学の学生 11 名(医学科 4 名、看護学科 7 名)が 8 月 25 日(木)から 28 日(日)の間、福島県南相馬市等でボランティア活動などを行いました。JR 西日本あんしん社会財団からのご支援も受けこのボランティア活動を今年も行うことができました。

仮設住宅での傾聴活動や福島県立医科大学での災害医療セミナーへの参加、力仕事のボランティアを行い被災地で汗を流しました。また、南相馬市や相馬市等の被災地域の視察を行い、震災から 5 年半経った福島の実状についての理解を深め、今後の支援のあり方についての考えを深めました。

福島でのボランティア活動を通して

医学科 1 年 平山 和秀

僕は、生まれてからこれまで何の災害にも襲われることなく生きてきて、また、ボランティア活動の経験もありませんでした。そのため、災害の恐ろしさをしっかりと理解していませんでした。今回のボランティア活動において、災害がいかに恐ろしい

ものかということを理解できたような気がします。

ボランティア活動に参加して、初めて訪れた福島は、5 年経った今でも復旧工事が行われており、放射線の被害により帰宅が許されない地域も少なくありません。このことを知って、東日本大震災からの復興がいかに難しいかを知りました。また、今回のボランティアの中で行った力仕事ボランティアでは、今年になってやっと帰宅が許された方の家の片づけを手伝いました。その際、片づけた家にはもう住まれないらしく、その方は、家にあるほとんどのものを処分され、片づけた家に僕たちが土足で上がるのを許可してくださいました。この活動を通して、災害に見舞われたら、災害以前と同じような生活は送れないという事実を知りました。今回のボランティア活動は、災害の恐ろしさを実感できて、非常に有意義なものでした。

近年の災害の多さを鑑みるに、だれでも災害に見舞われうるのだから、災害の恐ろしさは、その災害が起こった時だけでなく、常に知っておき、対策を立てるべきだと思います。



大熊町の帰還困難区域視察風景



南相馬市災害復旧復興ボランティアセンター前にて



南相馬市小高区被災者宅の片付け風景

平成 27 年度計画の業務実績に対する評価について

第二期中期計画に係る平成 27 年度計画の業務実績について、県の評価委員会による評価結果が通知されました。

27 年度計画については、「おおむね実施している」と判断され、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては「順調に進んでいる」という評価を受けました。また、項目別評価としては、全 8 項目において「順調に進んでいる」という評価を受け、前年度を上回る評価結果となりました。(右記レーダーチャート参照)

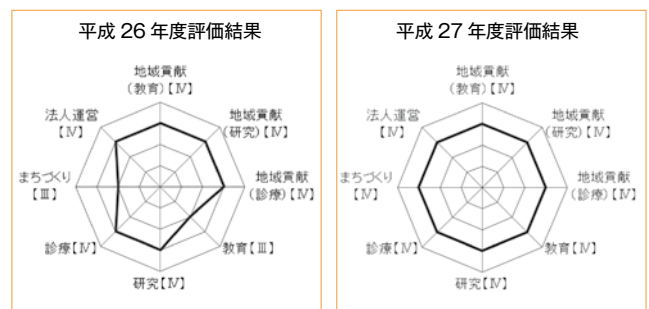
第二期中期計画期間の半分が終了した時点での進捗状況は良好であるものの、中期計画の達成には、残る 3 年間の着実な取組が求められるところですので、引き続きご協力をお願いいたします。

平成 27 年度評価結果や中期計画、各年度計画等については、本学 HP (<http://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/kekakuhyoka/gyomujoho2.html>)に掲載しています。



評価委員会の様子

2 年間の年度評価



【県評価委員会の定める評定区分・内容】

- Ⅴ：中期目標・中期計画の達成に向けて特筆すべき進行状況にある
- Ⅳ：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる
- Ⅲ：中期目標・中期計画の達成に向けておおむね順調に進んでいる
- Ⅱ：中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている
- Ⅰ：中期目標・中期計画の達成のためには重大な改善事項がある

附属病院内でアート展を開催しました

附属病院では、8月22日(月)から7日間、「特別支援学校と病院を結ぶアート展」をテーマに、特別支援学校の児童・生徒、卒業生の作品展を初めて開催しました。

現在、附属病院では、25名の障害者が働き、患者サービスの向上に貢献していることから、障害者が附属病院を就労の場に活躍していることを多くの方に知っていただきたいという思い、そして医師、看護師を目指している学生が障害者との交流が深まることを願って開催したところでした。

小児センターの子どもたちの作品も含め、約70点の作品を展示しました。水彩画、ちぎり絵、ペーパークラフト、粘土細工、パソコン作成のイラストなど工夫を凝らし、個性豊かな力作揃いでした。

患者さん、お見舞いの方、教職員や学生など約1,500名の方がお越しになりました。皆さん時間をかけてじっくりと作品を鑑賞いただき、癒やしのひとときになったのではと感じます。

今後とも、附属病院では、積極的に障害者雇用の取り組みを進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



コンソーシアム実習(早大・奈良医大連携講座)が開催されました

「先端放射線医療工学と生命科学」をテーマに、8月29日(月)から31日(水)まで、早稲田大学において、早稲田大学・奈良県立医科大学連携講座が開催されました。

これは、早稲田大学と本学が2008年12月に結んだ協定に基づく連携事業として、隔年で開催校を代えて実施しているもので、早稲田大学での開催は今回で4回目となります。

講義は、早稲田大学教員と本学教員で行い、本学からは、リハビリテーション科の城戸顕講師にご出講いただきました。一方、早稲田大学からは、鷲尾方一教授、石山敦士教授、武岡真司教授、篠原邦夫客員教授、放射線医学総合研究所の野田耕司主任研究員がそれぞれ講義を担当されました。

講座期間中には、懇親会が開催されたほか、キャンパス施設や早稲田大学先端生命医科学センター(TWIns)の見学も行われ、普段と違う雰囲気の中で専攻を異にする学生と交流を深める良い機会となりました。

又、今年度より学生の実習に対する支援として、「未来への飛

躍」基金から交通費及び宿泊費が助成されることになりました。

早大・奈良医大連携講座に参加して

医学科5年 池田 智代子

今回の講座を通して、放射線や加速器の基礎から応用に至るまで幅広く学ぶことが出来ました。また実際に機械開発や研究の場を見ることで、医療の場で活かされている検査や治療技術を支える工学の重要性をより実感し、今後工学の力を医学に活かし医療へ繋げていく為にも双方の歩み寄りと理解が重要であると改めて考えさせられました。このような機会を与えてくださった両大学の皆様、「未来への飛躍」基金からのご支援に感謝申し上げます。



授業の様子

第6回大和漢方医学薬学セミナーを開催しました

9月1日(木)に巖櫃会館 大ホールにおいて、本学と株式会社ツムラの共催による第6回大和漢方医学薬学セミナーを開催しました。今回は、「漢方の四診と症例検討」と題して医師、薬剤師、医療関係者向けのセミナーで、まず、三谷和男特任教授(大和漢方医学薬学センター副センター長)より漢方医学の診断学である四診について分かりやすく解説がされた後、郡山青藍病院 漢方内科 西田清一郎先生より症例報告をもとに検討会を実施しました。質疑では、実際に漢方薬を処方されている先生方からの実践的な質問など活発なやりとりがあり、セミナー終了後も講師を囲んでのやり取りが続き熱気があるものでした。

大和漢方医学薬学センターでは今後もこのようなセミナーを開催し、漢方の普及に努めてまいります。



質疑に答える郡山青藍病院 西田先生



講評中の三谷特任教授

救急功労者総務大臣表彰をいただきました

救急医学 教授 奥地 一夫

9月9日(金)救急の日に高市早苗総務大臣より表彰をいただきました。『救急功労者表彰』とは「平素から救急業務の推進に功労し、公共の福祉の増進に顕著な功績があった個人及び団体を表彰するもの」で、平成28年度の総務大臣表彰は、個人表彰13名及び団体表彰2団体でした。このたびは奈良県広域消防本部及び奈良県の推薦を賜り受賞に至ったと聞いております。

また、奈良県では初めての救急功労者総務大臣表彰であり、大変栄誉に感じております。この賞は私のみにも与えられたのではなく、奈良県立医大高度救命センターのスタッフ医師、研修医、看護師及び奈良県広域消防本部を含む県下の3消防局・本

部の協力で支えられる奈良県の救急医療に対して頂けたのだと思っております。



日本消化器内視鏡技師試験に合格しました

中央内視鏡部 看護師 ヨノ カルジヨノ

この度第35回日本消化器内視鏡技師免許を取得することが出来ました。中央内視鏡部に配属となり、4年経過し、専門知識や技術を取得した先輩に指導していただきました。そして、私も専門性を深めたいと思い技師試験に挑戦する事にしました。試験勉強は言葉や文化の違いや、日本語独特のニュアンスや漢字、いまわしがとっても難しいと再度痛感しましたが、まさか一回で合格するとは思っていませんでした。

社会が変化していく中で、外国人だからこそ出来る事や、伝えられることはたくさんあると思います。今後は今もっている知識

や技術を継続出来るように新しく来られたスタッフに伝えていきたいと思っております。私を導いてくださった先輩方、サポートしてくださった皆様や職場に深く感謝しています。これからも患者さんのために、自分のために、そして奈良医大のために努力していきたいと改めて決意しました。今後もよろしく願いいたします。私を見かけたら声をかけてください。



第112回日本精神神経学会精神医学奨励賞を受賞しました

精神医学講座 助教 山室 和彦

この度、千葉県の幕張メッセで行われた日本精神神経学会学術総会におきまして、精神医学奨励賞を受賞いたしました。受賞論文は「Differential patterns of blood oxygenation in the prefrontal cortex between patients with methamphetamine-induced psychosis and schizophrenia (Scientific reports 5: 12107; 2015)」であり、近赤外線スペクトロスコピィが統合失調症と覚醒剤精神病の鑑別に用いることができる可能性を検討した論文です。これまでにご指導いただきました岸本教授はじめ、関係する多くの先生方の協力や、家族の支えがあったからこそ、今回受賞することができました。この場をお借りして深くお礼申し上げます。今回の受賞を励みに、今後益々、臨床および研究に精進したいと思います。



第112回日本精神神経学会学術総会で優秀発表賞を受賞しました

精神医学講座 医員 青木 智恵子

このたび、千葉県の幕張で行われた第112回日本精神神経学会学術総会の臨床研修医演題部門におきまして、「意味性認知症の一例」という演題で優秀発表賞を受賞いたしました。意味性認知症は、呼称障害と語理解障害の二方向性のある言語障害と特徴とする認知症で、日頃見慣れない物品などについて名

称を忘れたり、使用方法がわからなくなったりといった症状が早期から出現します。失語症検査の音声データを使用することで、臨場感のある発表となったと思います。本演題の発表にあたり、岸本年史教授、松岡助教をはじめ、多くの先生方にご指導を賜りました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。この受賞を励みに、今後も精進してまいります。

シムリンピック2016 部門別(呼吸器診療)で1位の表彰を受けました

医学部医学科 岩田 直也(6年) 中村 友洋(6年) 浅田 萌(5年)

シムリンピックは全国の医学部学生が3人一組のチームとなり、シミュレーターを用いて模擬診察の技能を競う医学教育学会主催の大会です。今年は7月31日(日)に開催され、本学からは私達「チーム あをによし」の3名が参加しました。事前には、教育開発センターの藤本教授にご助言を頂きながら、自分たちなりに、本学の「スキルスラボ」にて練習を重ねました。結果は総合成績での入賞は逃しましたが、部門別成績(呼吸器診療)にて1位となり表彰されました。本大会に参加し、机上の学習に加えてシミュレーションにて実際に体を動かす学ぶことの重要性を痛感しました。

本学ではシミュレーターや設備が充実しつつあります。今後、授業など教育の場でさらに積極的に用いられ、student doctorとしての実習に活かせる環境となればより有意義だと感じています。また、学生が気軽に手技練習のできる環境になっていくことを期待しています。

本大会では、他大学の同年代の学生と交流できたことも刺激的でした。この体験を後輩たちにも伝えていければと思います。(岩田)



左から、岩田、浅田、中村



第212回日本内科学会近畿地方会で若手奨励賞(優秀演題賞)を受賞しました

神経内科学講座 後期研修医 塩田 智

6月25日(土)に大阪市で開催された伝統ある第212回日本内科学会近畿地方会において、本学会で初めて創設されました若手奨励賞セッション(口演発表)で、本学神経内科学講座の塩田智後期研修医が50題以上の中から選ばれ、優秀演題賞を受賞しました。演題「ヒトヘルペスウイルス6型(HHV6)再活性化に伴う脳幹脳炎、横断性脊髄炎とギラン・バレー症候群を呈した一例」は、当科と本学呼吸器・アレルギー・血液内科学講座との共同研究によるもので、HHV6再活性化に伴う中枢神経および末梢神経障害の機序を考える上で重要な症例検討でした。本学会の若手奨励賞は、20人を越える審査委員の厳正な選

考により授与されたものです。若手医師にとっては今後の内科学診療および研究の大きな励みとなり、今後さらに研究の発展に貢献してくれるものと考えます。

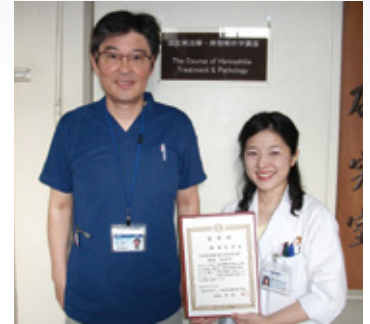


2016年度日本臨床検査医学会で検査・技術賞を受賞しました

血友病治療・病態解析学講座 特任助教 松本 智子

この度、「凝固機能評価法の創出と病態の解明」の研究業績により、2016年度日本臨床検査医学会「検査・技術賞」に選考され、9月2日(金)に神戸市で開催された第63回日本臨床検査医学会学術集会で受賞しました。本学会賞は、臨床検査医学関連領域における学術研究活動の推進を図ることを目的に、主に日常検査業務に関連する病態解析あるいは検査法の開発や検討について評価された賞です。私は、このような名誉ある賞を授賞させていただき、大変光栄に存じます。ひとえに嶋緑倫教授

をはじめ野上恵嗣准教授の多大なるご指導の賜物と感謝いたします。また小児科教室のメンバーの支えと、多くの方々からのお力添えをいただいたおかげだと心より御礼申し上げます。種々の解析法が患者さんへ有益で実用的な測定法となるように、より一層研究に邁進していきたくと思います。これからもどうぞ、よろしく御礼申し上げます。



平成27年度整形災害外科学研究助成財団から科研製薬奨励賞をいただきました

整形外科 助教 井上 和也

この度、「修復術後再断裂防止のための腱板生着技術の開発」の研究題目につき、平成27年度整形災害外科学研究助成財団の研究助成である科研製薬奨励賞を受賞いたしました。本研究は肩腱板再建術に骨形成細胞シート移植を併用し腱板と骨の固着を促進させ、術後の再断裂を防止するための基礎技術を開発することを目的としています。本研究助成を有効に活用して精力的に研究を進め、今後の臨床応用へつなげるよう精進していきたくと思います。本研究助成の獲得にあたり、ご指導を賜りました整形外科教室田中康仁教授、公衆衛生学講座赤羽学准教授に深くお礼申し上げます。



平成27年度整形災害外科学研究助成財団から財団奨励賞をいただきました

整形外科 大学院生 大西 正展

この度、平成27年度整形災害外科学研究助成財団、財団奨励賞を受賞させて頂きました。受賞題目は「殺細胞処理骨形成細胞シートの骨再生医療への応用(同種移植を目指して)」であり、ラット大腿骨骨髓間質細胞から作製した骨形成細胞シートを液体窒素処理することで殺細胞化させ、細胞外マトリックスのシートを作製します。これにより抗原性を最大限低下させ、免疫抑制剤を必要としない同種移植術とシート工学の融合を目指した骨再生の研究となります。新しい骨再生の治療につながるよう今後とも精進していければと思います。本受賞にあたり、研究の環境を与えて頂きました、整形外科講座田中康仁教授、清

水隆昌助教、手の外科講座面川庄平教授、健康政策医学講座赤羽学准教授に心より感謝申し上げます。



その他の受賞

| 受賞者 | 学会等 | 表彰名 | 受賞日 |
|----------------|----------------|----------|----------|
| 看護部 副部長 西 幸江氏 | 日本看護協会 | 協会長表彰 | H28.6.7 |
| 附属病院 看護部小児センター | 第13回血友病看護フォーラム | 最優秀一般演題賞 | H28.6.18 |

医学を基礎とするまちづくり Medicine-Based Town (MBT) コロキウム

開催日：平成28年11月14日(月)
 第1部 13：30～17：20
 第2部 18：00～20：00

場所：第1部 早稲田大学大隈記念講堂
 第2部 リーガロイヤルホテル東京

概要：MBTでは産業に医学の光をあてた新産業の創生を目指しています。この取り組みを広く周知します。

講演者：荒井 正吾 奈良県知事 等

対象：一般・企業等

定員：第1部 1,100名
 第2部 500名

備考：第1部 無料
 第2部 2,000円
 事前申し込み必要
 詳細は本文P9参照

問合せ先：MBT(医学を基礎とするまちづくり)研究所 鉄村
 0744-22-3051(内線2552)



奈良臨床漢方医学薬学セミナー

開催日：平成28年12月22日(木) 19：00～20：30

場所：奈良医大 蔵書会館3階大ホール

概要：「漢方講義⑨」～おススメ！漢方厳選10処方の解説～

講演者：広島大学大学院 医歯薬保健学研究院
 漢方診療学 教授 飯塚 徳男 先生

対象：医師・薬剤師等

定員：100名

備考：事前申し込み不要 無料

問合せ先：大和漢方医学薬学センター 鉄村
 0744-22-3051(内線2552)

平成28年度後期 奈良県立医科大学公開講座『くらしと医学』

開催日：平成29年2月11日(土) 13：00～

場所：奈良県文化会館 国際ホール

概要：本学の地域貢献の一環として、日頃の研究成果等の情報を分かりやすく提供することにより、県民の皆さんの健康の維持・増進や日々の生活に役立てていただくことを目的に開催します。

講演者：糖尿病学講座 石井 均 教授 等

対象：県民

定員：1,000名

備考：事前申し込み不要 無料

問合せ先：総務課 総合調整係
 0744-22-3051(内線2206)

平成29年度入試日程【医学部】

| 学科 | 入試区分 | 募集定員 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表(予定) |
|------|------|------|------------------------------|---------------------------|----------------|
| 医学科 | 推薦*1 | 38 | 平成28年12月13日(火) ～12月16日(金) | 平成29年1月28日(土) 1月29日(日) | 平成29年2月7日(火) |
| | 前期 | 22 | 平成29年1月23日(月) ～2月1日(水) | 平成29年2月25日(土) 2月26日(日) | 平成29年3月7日(火) |
| | 後期 | 53 | | 平成29年3月12日(日) 3月13日(月) | 平成29年3月21日(火) |
| 看護学科 | 推薦*2 | 35 | 平成28年11月1日(火) 11月2日(水) | 平成28年11月27日(日) | 平成28年12月13日(火) |
| | 社会人 | 5 | | | |
| | 前期*3 | 45 | 平成29年1月23日(月) ～2月1日(水) | 平成29年2月25日(土) 2月26日(日) | 平成29年3月7日(火) |

*1 医学科推薦選抜試験は緊急医師確保特別入学試験13名と地域枠入学試験25名を実施します。

*2 看護学科推薦選抜試験は地域枠のみ募集します。

*3 看護学科一般選抜試験(前期日程)は、一般枠35名と地域枠10名を募集します。

※看護学科一般選抜試験(後期日程)は、実施しません。

詳しくはホームページで確認してください(<http://www.naramed-u.ac.jp/university/nyushijoho/index.html>)

看護学科の推薦・社会人入試募集要項は9月中旬から配布中です。

医学科推薦入試募集要項は11月上旬、その他の募集要項は11月下旬から配布予定です。



2016年奈良県立医科大学大学祭 白檀生祭 奈良に恋する2日間 ～あなたと医療のキョリ、縮めます～

【プレイベント】

「健康長寿～家族の健康を守ろう～」@イオンモール橿原

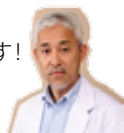
日 時：10/10(月・祝) 10:00～17:00

概 要：各ブースを回るスタンプラリー方式
救急車展示、医療体験、健康クイズコーナー、AED体験

【白檀生祭】

日 時：10/29(土)、30(日)

地域の方々楽しんでいただける企画が盛りだくさんです!



①シンポジウム

場 所：本学大講堂

日 時：10/29(土)

10:30～ 熊井司先生「トップアスリートを支えるスポーツ医学」

12:00～ 松木安太郎氏「負けてたまるか サッカー人生!」

14:00～ 川手健次先生「運動器の再生医療」



②よしもと芸人ライブ!

場 所：大講堂前屋外特設ステージ

日 時：10/30(日) 13:00～14:00



③医学展示企画「あなたのカラダの初耳学!」

概 要：昨年度好評でした医学展示イベントの大幅パワーアップバージョン!今年は奈良医大の臨床教室全面協力の下、濃密な体験を皆さんにお届けします!医学の世界に触れ、新たな発見をしてみませんか?ご自身の健康について見つめなおしてみましょう!

1. 体育館企画

救急科・救命体験・産婦人科・妊婦体験・感染症内科・手指衛生レクチャー・循環器内科・血圧測定・放射線科・画像診断クイズ・耳鼻咽喉科・体幹チェック etc...

2. スキルスラボ企画*

循環器内科・心音聴診シミュレーション・耳鼻咽喉科・診察体験・産婦人科・胎児エコー体験・縫合体験・腹腔鏡体験 etc...

※スキルスラボは要予約につき注意!詳細・予約は白檀生祭HPまで!

④なら・かしはらグルメフェア

場 所：本学 教養教育棟前駐輪場

日 時：10/29(土)、10/30(日) 両日とも 10:00～18:00

出店店舗：あすかグリーンファーム、お食事処やくぜん、パン工房マツダ(10/29のみ)、炙り鯛だしらーめん・つけ麺クラ、ポニーの里×奈良医大、みるく工房飛鳥、珈琲亭

⑤出張!今井町衆市!

日 時：10/29(土)、10/30(日) 両日とも 10:00～18:00

概 要：恒例となった今井町とのコラボ企画。今年もたくさんの出店を予定!書道・柿の葉寿司、吉野杉一隻張、こんにゃく、お茶 などなど

⑥ステージ企画

日 時：10/29(土)、10/30(日) 両日とも 10:00～18:00

概 要：バンドライブ、クイズ大会、ビンゴ大会、ダンスステージ等企画多数

⑦白檀生祭オリジナルキャラクター

『しょうとくた医師』くん!

昨年誕生した本学祭のマスコット。今年はなんと、テーマソングとPVを引っ下げて登場!白檀生祭のそこかしこであなたをお迎えしま“すいこ”!

「未来への飛躍基金」にご協力いただきありがとうございました

「未来への飛躍基金」に対し、多くの方々から募金のお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。

本基金は、本学の教育・研究・診療の更なる充実を支援するための恒久的な基金として、昨年5月に創設いたしました。基金創設以来、平成28年9月までに累計753件のご寄附をいただいております。

今後とも皆様のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

なお、今号では、平成28年7月～9月にお申し込みいただいた方のご芳名を掲載させていただきます。

【個人】

◆累計100万円以上1,000万円未満

| | | |
|---------|---------|---------|
| 大坂 正浩 様 | 鎌田勝三郎 様 | 北口 勝康 様 |
| 田北 武彦 様 | 寺田 秀興 様 | 中垣 公男 様 |
| 西川 学 様 | | |

◆累計30万円以上100万円未満

| | | |
|---------|---------|---------|
| 秋山 晃一 様 | 梅垣 修三 様 | 岡本 英之 様 |
| 鎌倉 徹郎 様 | 瓦口 至孝 様 | 北村 紀文 様 |
| 長 澄人 様 | 辻元 安子 様 | 仲川 嘉紀 様 |
| 細井 裕司 様 | 山岸 直矢 様 | 山本 和邦 様 |
| 渡辺 裕之 様 | 渡邊 愛子 様 | 渡邊 巖 様 |

掲載を希望されないご寄附者様 2名

◆累計10万円以上30万円未満

| | | |
|---------|---------|---------|
| 石原 澄子 様 | 石本 佳之 様 | 勝山 慶之 様 |
| 斎藤 宏史 様 | 細井 裕樹 様 | 松本 雅充 様 |
| 脇坂 弘暢 様 | | |

掲載を希望されないご寄附者様 4名

◆累計10万円未満

小林 季穂 様

掲載を希望されないご寄附者様 3名

◆金額の公表を希望されないご寄附者様

| | | |
|---------|---------|---------|
| 岩本 弘 様 | 岡橋孝治郎 様 | 河口 泰之 様 |
| 木田 恵子 様 | 原田 明久 様 | 原田 稔 様 |
| 三浦 太士 様 | 森下 仁子 様 | |

【法人・企業】

◆累計50万円以上100万円未満

公立大学法人奈良県立医科大学労働組合 様

(五十音順)

平成28年6月以前のご芳名については、本学「未来への飛躍基金」HP(<http://www.narmed-u.ac.jp/~hiyakukikin/>)に掲載しております。

メディア掲載情報をお寄せください～学報紙面で紹介します～

新聞・雑誌・テレビ等マスコミの取材、テレビ出演、記事を掲載された教職員・学生をこの「学報」紙面で紹介します。

| 掲載者 | 掲載メディア | 掲載概要 |
|---|---|--|
| 細井 裕司 理事長・学長 | 読売新聞 夕刊 7月25日 | 今井町でのMBTの取組について |
| 今村 知明 教授 (公衆衛生学) | メディアファックス 7月26日 地域に沿った施策と課題意識の共有を | 厚生労働統計協会の「都道府県における地域医療ビジョン及び医療計画の策定にかかる課題に関する研究会」で今村が座長をつとめている立場から、地域医療構想について意見を述べた。 |
| 本学教員等 | 近畿ケーブルネットワーク 「おしえて！奈良医大」 8月1日～ | 視聴者が知りたい「病気のあれこれ」や「気になる体のあれこれ」について本学の教員がわかりやすく解説する。 |
| 坪井 昭夫 教授 (生命システム医科学分野 脳神経システム医科学) | 奈良新聞 8月3日 NHK「ならナビ」 8月4日 読売新聞 朝刊 8月12日 朝日新聞 朝刊 9月15日 | におい検出の仕組み解明について |
| 東条 尚 病院教授 (胸部・心臓血管外科学) | 読売新聞 朝刊 8月7日 | 「病院の実力」コーナーにおいて、肺がんの治療法や早期発見が完治につながるとコメント。 |
| 田中 康仁 教授 (整形外科) | NHK「きょうの健康」 9月26日 | 外反母趾の対策について、靴選びのポイントや予防に有効な足の指の体操、手術の方法などを紹介。 |

編集後記

今月の学報も本学の存在感を示す、華やかなニュースに彩られ、奈良医大の飛躍がいよいよ本物であると感じられる内容となっています。個人的には学生時代の思い出溢れる硬式テニス部男子の西医体優勝は嬉しいニュースでした。創部以来、かの岡島英五郎名誉教授現役選手の時代でさえ成し得なかった栄えある優勝なのですから、学生諸君には申し訳ないが、ビッグサプライズでした。おめでとう！ありがとうございます！ 研修医採用面接では、ほぼ全員が学生時代の思い出として、部活の日々を語っていました。医者を目指すからには刻苦勉励は言うまでもありませんが、難関突破した少々脆弱な青年が全人的に修練する数年です。

○大林 千穂 (病理診断学)
藤本 雅文 (物理学)
京谷 陽司 (薬理学)
小川 浩平 (皮膚科)
乾 つぶら (母性看護学)
西 幸江 (看護部)
森田 英之 (総務課)
阪田 聖基 (総務課)
勝本英一郎 (研究推進課)
日浦 繭子 (教育支援課)
廣田 雅彦 (病院管理課)
(○印は編集委員長)

学報バックナンバーは web サイト上でもご覧いただけます。
(<http://www.naramed-u.ac.jp/info/introduction/magazine.html>)